キャラクター名
エルンスト・D・スマイルズ

プレイヤー名

種族	ソレイユ	種族特徴	輝く肉体、太陽の再生、太陽の子		
生まれ	野伏	性別	男	年齢	27
冒険者Lv	9	経歴	神に愛された肉体を持つ陽気な青年。ドーデン地方を転々とする、本物の愛を追い求める旅人。愛称はスマイル。好きな食べ物はドーデン地方に古くから伝わるガレット。甘いもの。故郷では只強くあるように厳しく育てられた為、書物で読んだことのある恋愛に強く憧れている。		
経験点	0				

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	10	器用度	4	5	2	21	3
		敏捷度	7	1		18	3
体	13	筋力	11	9		33	5
		生命力	9	5		27	4
心	3	知力	3	1		7	1
		精神力	6	1		10	1

技能	Lv.	技能	Lv.
ファイター	9		
スカウト	5		
レンジャー	7		
セージ	1		
エンハンサー	3		

技能	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	9	12	12	14
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		ランク	必要筋力	回避力	防護点
鎧	ハードレザー		13		4
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					1
回避技能	ファイター		合計値	12	6

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
トレフランベルジュ 属性武器（炎）+2/消費MP2　補助動作で使用	2H	24	1	2d+ 13	10	18	44										
				2d+													
				2d+													

一般装備品	(消耗チェック)
冒険者セット	○□□○□□
アビスシャードx9	○□□○□□
酒の種（10粒）x5	○□□○□□
望遠鏡	○□□○□□
警戒の石	○□□○□□
太陽のランタン	○□□○□□

救命草x30	○□□○□□
魔香草x10	○□□○□□
救難草x10	○□□○□□
魔香のパイプ	○□□○□□
	○□□○□□

所持金 5092 G　預金・借金 G

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	18 m	54 m

回避	防護点
2d+ 12	6

HP
86

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 2	2d+ 8

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 13	2d+ 10

MP
12

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

戦闘特技			
タフネス	2122p		p
トレジャーハント	2120p		p
治癒適性	2122p		p
不屈	2123p		p
武器習熟A/ソード	1-281p		p
武器習熟S/ソード	1-281p		p
全力攻撃	1-286p		p
挑発攻撃	1-287p		p
頑強	1-279p		p
	p		p
	p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
汎用蛮族語	○	
ソレイユ語	○	

装備品		説明
頭		
耳	ピアス	天然石
顔	アイソアーマスク	遠隔攻撃を誘引する
首	熊の爪	マッスルベアーの効果+1
背中	ウェポンホルダー	武器を背中に保持できる
右手	ヴァルツガントレット	HP+2
腰	ブラックベルト	
足	アンクレット	銀製
その他	専用武器化（ソード・オブ・スマイルズ）	器用+2

装備品		説明
左手	ヴァルツガントレット	MP+2

練技/呪歌/騎芸/賦術	
マッスルベアー	
キャッツアイ	
ガゼルフット	

名誉アイテム	点数
ヴァルト式戦場剣殺法	50
イーヴァル狂闘術	50
《殺し打ち・轟雷》	20
《殺し打ち・轟震万雷》	30
《怒レル熊ノ一撃》	20
《激怒セシ熊ノ一撃》	30
ヴァルツガントレット　右	20
ヴァルツガントレット　左	20
専用武器	50
専用装飾品	50
専用装飾品	50
名誉点 所持 110 /合計	500

その他メモ

昔は血生臭い傭兵団の一員だった。だが拠点が洞窟のような暗い場所だったこともあり数年で脱退。（あそこ太陽の光を満足に浴びれないし、陰気な感じが厭だった。）またある時は炭鉱夫として・・・。仕事は悪くないが、あまりにも女っ気が無さすぎる。これも違うな。

そうして数々の仕事を転々としていた所、「鉄花」という冒険者ギルドに出会った。肉体が闘いを求めていたこともあり門を叩いた。
少し手伝うくらいの日銭稼ぎで来たつもりが彼の運命を一変させた。
同じソレイユの女性と出会い一目惚れしたのだ。すぐさま口説こうとした彼だったが、軽くあしらわれてしまった。どうやら彼女曰く「できて間もないギルドだから色々手伝って欲しい。そしたら考えてあげる」とのこと。

初めて会った日から数年は経った。もはや誰の目から見てもそういう仲。といった感じだが、彼女は自分にアピールし続ける彼とのやり取りが好きでそのままにしている。（小悪魔的な側面）
（中略）

自動失敗チェック
□□□□⑤
□□□□⑩
□□□□⑮
□□□□⑳
□□□□㉕
□□□□㉚
□□□□㉟